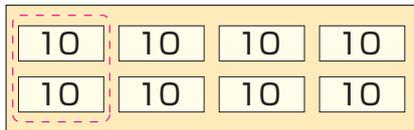




◆何十でわるわり算

80 ÷ 20 の計算のしかたを考えましょう。

① 図を見て、計算のしかたを考えましょう。



20 ずつ<sup>かこ</sup>囲んで  
いくと…。



80 ÷ 20 = 4

② 80 ÷ 20 は、10 をもとにすると、8 ÷ 2 とみることができます。

80 ÷ 20 の商は、8 ÷ 2 の商と等しくなります。



140 ÷ 40 の計算のしかたを考えましょう。

① 10 をもとにして考えると、

14 ÷ 4 = 3 あまり 2 だから、

140 ÷ 40 = 3 あまり 20

10 をもとにした計算で  
2 あまったのだから、  
あまりは 2 ではないね。

② 答えのたしかめをしましょう。

40 × 3 + 20 = 140  
 わる数 × <sup>しょう</sup>商 + あまり = わられる数





◆ 2けた ÷ 2けたの計算

お折紙が68まいあります。1人に21まいずつ配ると、何人に分けられて、何まいあまるでしょうか。

① どんな式で求められるでしょうか。

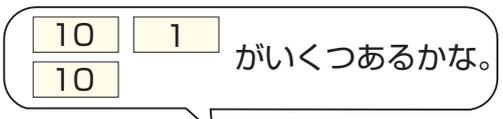
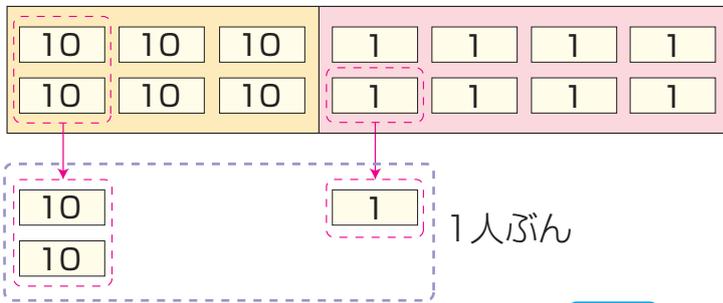
しき式

$$68 \div 21$$



68の中に21がいくつあるかを考えるのだから…。

② 図を見て、計算のしかたを考えましょう。



答え **3** 人に分けられて、**5** まいあまる。

③  $68 \div 21$  の筆算は、次のようにします。

$\begin{array}{r} 21 \overline{) 68} \\ \underline{63} \phantom{0} \\ 5 \phantom{0} \end{array}$ <p>① 商の3を一の位にたてる。</p>	➔	$\begin{array}{r} 21 \overline{) 68} \\ \underline{63} \phantom{0} \\ 5 \phantom{0} \end{array}$ <p>② 21に3をかける。積の63を68の下に書く。</p>	➔	$\begin{array}{r} 21 \overline{) 68} \\ \underline{63} \phantom{0} \\ 5 \phantom{0} \end{array}$ <p>③ 68から63をひく。</p>
--	---	--	---	--



わる数の21を20とみて、68の中に20がいくつあるかを考えると、かんたんに商の見当がつけられるよ。

④ 答えのたしかめをしましょう。

$$21 \times 3 + 5 = 68$$

わる数 × 商 + あまり = わられる数



### ◆商の見つけ方

商しょうにどんな数ほんがたつか見当けんたうをつける方法ほうほうを考えましょう。

①

			2
4	2	8	5
		8	4
			1

わる数の42を40とみると、  
85の中に40が **2** こ入るので  
商しょうには **2** をたてます。

②

			2
3	2	9	5
		6	4
		3	1

見当けんたうをつけた商しょうが大きすぎたときは、  
商しょうを順じゆんに小さくして、正しい商しょうを見つけます。

・わる数の32を30とみて見当けんたうをつけると…。

$$\begin{array}{r} 3 \longrightarrow 2 \\ 3 \ 2 \overline{) 9 \ 5} \quad 3 \ 2 \overline{) 9 \ 5} \\ \underline{9 \ 6} \qquad \underline{6 \ 4} \\ \text{ひけない。} \quad \text{ひける。} \end{array}$$

・わる数の14を10とみて見当けんたうをつけると…。

$$\begin{array}{r} 7 \longrightarrow 6 \longrightarrow 5 \\ 1 \ 4 \overline{) 7 \ 2} \quad 1 \ 4 \overline{) 7 \ 2} \quad 1 \ 4 \overline{) 7 \ 2} \\ \underline{9 \ 8} \qquad \underline{8 \ 4} \qquad \underline{7 \ 0} \\ \text{ひけない。} \quad \text{ひけない。} \quad \text{ひける。} \end{array}$$

③

			5
1	4	7	2
		7	0
			2

④

			4
1	8	7	5
		7	2
			3

わる数を大きめにみて商しょうの見当けんたうをつけて、順じゆんに大きくして商しょうを見つけるほうがかんたんな場合もあります。

・わる数の18を20とみて見当けんたうをつけると…。

$$\begin{array}{r} 3 \longrightarrow 4 \\ 1 \ 8 \overline{) 7 \ 5} \quad 1 \ 8 \overline{) 7 \ 5} \\ \underline{5 \ 4} \qquad \underline{7 \ 2} \\ \underline{2 \ 1} \qquad \underline{3} \\ \text{わる数の18より大きい。} \quad \text{わる数の18より小さい。} \end{array}$$

・わる数の18を10とみて見当けんたうをつけると…。

$$\begin{array}{r} 7 \longrightarrow 6 \longrightarrow 5 \longrightarrow 4 \\ 1 \ 8 \overline{) 7 \ 5} \quad 1 \ 8 \overline{) 7 \ 5} \\ \underline{1 \ 2 \ 6} \qquad \underline{7 \ 2} \\ \text{ひけない。} \quad \text{ひける。} \end{array}$$

# 2けたの数のわり算 ④

(教科書 77 ~ 83 ページ)

4年	名	
	組前	

## ◆練習

①  $71 \div 23$

			3
2	3	)	71
			69
			2

②  $85 \div 12$

			7
1	2	)	85
			84
			1

③  $65 \div 34$

			1
3	4	)	65
			34
			31

④  $95 \div 13$

			7
1	3	)	95
			91
			4

⑤  $68 \div 28$

			2
2	8	)	68
			56
			12

⑥  $82 \div 16$

			5
1	6	)	82
			80
			2

⑦  $176 \div 34$

				5
3	4	)	176	
			170	
			6	

⑧  $308 \div 53$

				5
5	3	)	308	
			265	
			43	

⑨  $135 \div 17$

				7
1	7	)	135	
			119	
			16	

⑩  $549 \div 26$

			2	1
2	6	)	549	
			52	
			29	
			26	
			3	

⑪  $786 \div 64$

			1	2
6	4	)	786	
			64	
			146	
			128	
			18	

⑫  $632 \div 17$

			3	7
1	7	)	632	
			51	
			122	
			119	
			3	



◆わり算のきまり

36 ÷ 4 と、<sup>しょう</sup><sup>ひと</sup>商が等しいわり算を見つけましょう。

$$\begin{array}{r}
 36 \div 4 = 9 \\
 \downarrow \div 2 \quad \downarrow \div 2 \\
 18 \div 2 = 9
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 36 \div 4 = 9 \\
 \downarrow \times 2 \quad \downarrow \times 2 \\
 72 \div 8 = 9
 \end{array}$$

わり算では、わられる数とわる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、

**商** は変わりません。



4200 ÷ 60 を、わり算のきまりを使<sup>つか</sup>ってくふうして計算しましょう。

$$\begin{array}{r}
 4200 \div 60 = 70 \\
 \downarrow \div 10 \quad \downarrow \div 10 \\
 420 \div 6 = 70
 \end{array}$$



10 をもとにしたわり算と同じ考え方だね。



4500 ÷ 800 を、わり算のきまりを使<sup>つか</sup>ってくふうして計算しましょう。

$$\begin{array}{r}
 5 \\
 8 \overline{) 4500} \\
 \underline{40} \phantom{0} \\
 50 \\
 \underline{40} \\
 100 \\
 \underline{80} \\
 200 \\
 \underline{160} \\
 400 \\
 \underline{400} \\
 0
 \end{array}$$



あまりは0を消した分だけ0をつけたせばいいね。

4500 ÷ 800 = **5** あまり **500**